

科学研究費補助金（若手研究（S））研究進捗評価

課題番号	19671003	研究期間	平成19年度～平成23年度
研究課題名	個体発生における細胞骨格の動態を制御する遺伝子ネットワークの解明	研究代表者 (所属・職)	杉本 亜砂子（理化学研究所・発生ゲノミクス研究チーム・チームリーダー）

【平成22年度 研究進捗評価結果】

評価	評価基準
	A+ 当初目標を超える研究の進展があり、期待以上の成果が見込まれる
○	A 当初目標に向けて順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が見込まれる
	B 当初目標に対して研究が遅れており、今後一層の努力が必要である
	C 当初目標より研究が遅れ、研究成果が見込まれないため、研究経費の減額又は研究の中止が適当である
<p>(意見等)</p> <p>本研究は、モデル生物のセンチュウを用いて、多細胞生物の発生における細胞分裂軸の決定という細胞分化の重要な機構を、細胞骨格である微小管の動態から解明しようという野心的な課題である。核や紡錘体のポジショニングを新たに導入したスピニングディスク型共焦点顕微鏡を用いて四次元的に追求し(=立体画像の経時間的変化を追う)、センチュウの利点である RNAi によるノックアウトによって特定の遺伝子の影響を見ようとしている。この課題についての具体的な成果はまだ論文化されてはいないが、その成果はまとまりつつある。この四月から東北大学に教授職を得て栄転したことも更なる発展が期待できる。</p> <p>研究の進展状況については着実に進展しており、今後の研究推進上、問題となる点もなく、購入した設備についても有効に活用されており、研究費の使用についても効果的に使用されていると判断できる。ただ、成果の発表は期待できるものの、まだ完成はみていないため、この点に努力されることを期待する。</p>	